

農地・水保全管理支払交付金事業、当町では無理

町長…交付条件の拡大・緩和を働きかける



村岡 藤弥 議員



鷹巣地区民の共同作業（花植え作業）

風評被害に対応する一つの手段として自主検査をし、認証するシステムを構築することは効果的と考えるが、産業振興課長 国に認められた簡易式の放射線計量機は存在しないので、それらで行う自主検査は感心できない状況です。

農地・水・環境保全事業の成果と評価は。

放射性物質による農畜産物への影響と今後の対策は。町長 放射性物質に汚染された稲ワラを給与された肉牛から暫定基準値を超える放射性物質が検出され、出荷段階で全頭検査を実施し、結果を公表しています。また、農産物についても出荷を控えた主要な作物等について、随時地域ごとにサンプリング検査を行い、その結果を公表しています。今後は全県的な検査が行われ、安全が確認された農産物が流通することになっています。

従来の「営農支援」が「農地・水保全管理支払交付金事業」となり、冬期湛水やカバークロップの作付けが条件となり、当町などの積雪寒冷地にはなじまない。特別栽培米作付けへの影響が予想されます。日本全国それぞれの地域に適する内容にするため、国・県に強く働きかけていきたいと思います。町長 積雪地方においてもできるような施策を取り入れるよう、農政局や県にも取り組み内容の拡大を働きかけているが進展が見られません。今後とも機会を捉え交

町長 共同活動では農地周辺の環境整備のために、花の植栽や水路等の簡易な補修など、さまざまな活動が展開され農地の保全・環境整備のみならず地域づくりに効果がありません。また、営農支援活動では特別栽培米の取組み拡大に大きな効果がありました。

※冬期湛水とは、稲刈りが終わった水田に冬期も水をはる農法。
 ※カバークロップとは、土壌浸食防止、景観の向上、雑草抑制などを目的として、農作物を栽培していない時期に露出する地表面を覆うために栽培される作物のこと。

付条件の拡大・緩和を働きかけます。
 再質問 現行の農地・水事業は終結する。取り組んできたそれぞれの地区の意見の集約を図り、新たな事業に取り組みかどうかを含め早急に確認すべきと思うが、産業振興課長 年度内あるいは年内に取り組んでいる団体と話し合いをし、来年以降の協議をしたい。



高齢者が安心して暮らせる政策どうはかる？



青木 久子 議員

町答弁では、本年度に計画している「高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」の策定時に新設・増設・増床の検討をするとのことだが、現在の進捗状況はどうなっている。町長 仁風荘への入所待機者は、現在町内外含め100人ほどで、その内町内在住者は60人ほどです。策定にあたっては、各方面から予定している方々の意見を伺いながら、どのような施設を望んでいるのか、国や県の補助

急速な高齢化とともに介護施設への待機者が増加の傾向にある。高齢者が安心して暮らせる政策をどうはかる

町長 是非見せていただきたいという業者もいます。町長 是非見せていただきたいという業者もいます。町長 是非見せていただきたいという業者もいます。

事業の推移など把握しながら検討したい。また、介護施設を増やせば介護保険料の増額につながるため、町民に理解のいた、ただける内容となるよう心がけたい。計画策定にかかる二、三調査を行うため現在アンケート千人を予定し、調査の準備を行っていただきます。その後、県で策定する中間報告案を参考に町の計画をまとめ、策定委員会を開催して各方面、各分野の方々の意見を伺い、最終案をまとめたい。

福祉関係の施設も含め廃校利用については9月15日から10月14日まで公募します。



介護施設の希望がある駒籠廃校

町長 町の考え方をしっかり提示していきます。町長 町の考え方をしっかり提示していきます。

安心して入所できる安価な施設を望む
 町長：町の考えをしっかりと提示したい